

豪華新市庁舎 とんでもない

党横浜市議団宣伝

日本共産党横浜市議団はこのほど、新市庁舎建設計画の問題点について、JR関内駅前で宣伝しました。大員憲夫団長、岩崎ひろし副団長、荒木由美子、白井正子、古谷靖彦の各議員らが参加しました。

市は、新市庁舎整備



基本計画を策定し、4月1日から5月12日まで、市民意見を募集しています。

大員団長らは、150億円かけて耐震補強工

事をした新市庁舎を使わず、桜木町駅近くに総事業費630億円もかけて新たに超高層ビルを造るのは、税金の無駄遣いだ」と訴えました。

また、「市民意見募集のチラシを、わずか4000枚しかつくらず、市民の意見をきちんと聞こうという姿勢がない」と批判しました。

宣伝参加者は、新市庁舎整備計画の概要と党の考え方、市民意見を送るファクス用紙を刷ったチラシを配布。

「市民の意見を出しましょう」と呼びかけました。

訴えを聞いていた女性には「これから介護などにますますお金がかかるのに豪華な新市庁舎などとんでもない」と話しました。

訴える党横浜市議団